

【岐阜県揖斐郡揖斐川町】

校務DX計画

揖斐川町では、これまで教職員の働き方改革を進めるべく様々な対応を実施しました。今後は公立学校情報機器整備事業によるタブレット調達、次世代校務支援システムへの更新が計画されており、学校教育を取り巻く環境は大きく変化すると考えられます。管理運用面を十分に考慮しながら、今後の計画に取り組んでいくこととします。

1. 校務支援システムについて

揖斐川町では、教職員の働き方改革を進めるため令和2年度に岐阜県統合型校務支援システムを導入し、一定の効果を得てきました。校務支援システムへの名簿情報の入力について、町教委が保有する名簿データを新入学時にシステム取込することにより、不必要な手入力作業を一掃しています。現在、岐阜県市町村教職員業務改善協議会において次世代校務支援システム導入が検討されているため、検討状況を注視しながら次世代校務支援システム導入を進めていくこととします。

2. 校務系サーバのクラウド化について

校務系サーバのクラウド化を進めるにあたり、令和5年度中学校1校についてクラウド環境への移行を実施しました。令和6年度には、残りの小中学校について校務系サーバのクラウド化及び課題点であったゼロトラストの考え方に基づいたセキュリティ対策についても併せて進めています。

3. 学校保護者間連絡ツールについて

児童生徒や保護者への連絡ツールとしては「スマート連絡帳」を活用し、各種連絡事項を伝達するための人的コスト削減を進めてきました。今後も教職員の業務負担削減のため連絡ツールを活用していくこととします。

4. F A X ・ 押印の見直しについて

押印・署名の必要性については随時確認を実施し、必要性のない押印・署名については廃止に向けた取り組みを進めます。F A X についてはネットワーク設備不調等緊急時を除き学校間及び教育委員会との連絡には原則F A X を使用せず、引き続きメールや共有フォルダを利用していきます。また、学校現場の業務削減に伴い、R P A ・ 生成 A I 等を有効活用し、定型業務の自動化、校務の効率化への利用について検討を進めていきます。